



カウンセラーだより

たじま絆保育園 H30. 2月号

保護者の皆様こんにちは。今年は寒い日が続いておりますが、温くなるのはもう少し!?

でしようか。。。さて、2月号のお便りは、「幼児のあそびと発達について」お送り致します。ぜひご覧ください!



@Hoiclue ♪

幼児（3歳～6歳）のあそびと発達について

- ・主に年中（4歳以降）からですが、この時期に目覚ましく協調性（お友だちと協力する・お友だちに合わせながらあそぶ・お友だちと一緒にあそびをする・ことばのやり取りをしながら、つまり和を保ちながら仲良くあそぶなど）が発達していきます。これを連合あそび・協力あそびの時期と言います。
- ・これは、おでこの上にある前頭前野（ぜんとうぜんや）の働きが発達してくるからです。前頭前野は、いわゆる感情や行動のブレーキ機能・調節機能をつかさどる部分です。
- ・また、相手の側から気持ちを押し量るイメージ力も、この時期から目覚ましく発達していきます。
- ・なので、これまでは「自分が一番」「一人あそび」の時期でしたが、自分の欲求をある程度コントロールしつつ、お友だちの思いをくみ取りながら、協調的にあそび始める、社会的人間の萌芽期と言えます。
- ・ですから、この時期から「これをしたら相手はどう思うかな?」「周りを意識して」「お友だちと一緒に〇〇をしてみる?」「もう少し待ってて」「きちんと並ぼうね」「ルールを守ろう」などと協調性や社会性を育む声掛け・関りが発達の理に適っています。

3月のお知らせ

- ・ 随時、保護者向けの個別相談を受け付けております。
- ・ 毎週水曜+9日（金）・20日（火）の9時～18時に出勤予定です。
- ・ 20日（火）の17時～18時に「育児講座」を開催します。



4月号は「新年度における環境の変化とストレスケア」についてお送りします!ぜひ、ご覧ください!